

えほんのおへや通信



2011年2月1日(火)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

「光陰矢のごとし」と言われます。月日は矢のごとく過ぎ去ります。もう2月になりました。寒さ厳しい昨今です。絵本も冬一色です。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」2月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「だれかしら」

佐々木マキ作

おもちゃ箱のかげに、だれかかくれていますよ。だれかしら？ うさぎさんです、こんにちは。こたつ、ソファ、そして干したシーツのかげにも……。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「ちいさい おきやくさん」

石井礼子作

ある静かな午後のこと。玄関でネコが居眠りしていると……おやおや、何かがドアの隙間からやってきました。リスです。



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「きつねとかわうそ」

～日本の昔話～

梶山俊夫再話・画

きつねとかわうそは、ある時ばったり会って、ごちそうの招き合いをすることにしました。かわうそはきつねに魚をたっぷりごちそうしますが、かわうそがきつねのところに行くと、何も出さずにごまかしてばかり。



こどものとも

5～6歳向き

「おもちゃのくにの ゆきまつり」

こみねゆら作

ある日、男の子の大切にしていた、うさぎのぬいぐるみの腕が取れてしまいました。男の子はなんとか直そうとしますが、なかなかうまくいきません。そんなある晩、……。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「かたゆき」

小林輝子文 / 城芽ハヤト絵

雪がたくさん降る北国の冬。まっ白になった畑で遊びたくても、足が雪に埋まってしまうので遊べません。春が近づいたある日、とてもいいお天気になって雪がとけだして雪ががちかちかたかたくなります……。



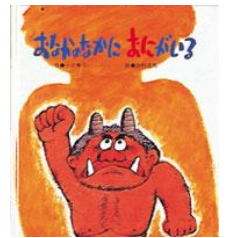
今月は他にこんな絵本も購入しました。

2歳から

「おなかのなかに おにがいる」

作：小沢孝子 絵：西村 達馬

冬おなかの中にいるオニは、おなかの持主と同じ性格です。くいしんぼうに、なきむしに、へそまがり……。節分の日、豆をまいておなかの良くないオニを追い出しますが……。



チャイルド本社

3歳から

「バムとケロのもりのこや」

作・絵：島田ゆか

ぼかぼか 暖かい木曜日近くの森にキノコをつみにいったバムとケロが思いがけず見つけたのは……



文溪堂

【雑感】

「寒三十日(かんみそか)」という言葉があります。寒の入から節分までの約30日間を指すそうです。寒さが最も厳しい時期です。昔から日本人にとって自然は対立し屈服させるのではなく、自然とともに生きていく、という考えが強かったようです。寒さが来れば寒さを素直に受け入れて生きて行けばよいのだと思います。



※年齢は目安です。